

平成 30 年度第 4 回
関東学生ホッケー連盟役員会
議事録

期日：2018 年 8 月 22 日（水）

時間：18 時 30 分～20 時 40 分

会場：品川区総合体育館

出席者：一川邦彦、河原茂光、寺本祐治（以上副会長）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊（副理事長）、宮澤哲郎（事務局）、関谷淳一、釋洋一（以上監事）、成田健一、栗原崇、川口雄大（以上常任理事）、竹内佑太（学連委員長）、樋脇彩夏（学連副委員長）、祖山彩夏（財務委員長）、吉川菜緒（書記）、林直樹、坂梨匡（以上副学連委員）

古屋会長が欠席のため、一川副会長が代行して開催を宣言。

【審議事項】

1. 平成 30 年度秋季関東学生ホッケーリーグ競技運営規定

・出口競技委員長が欠席のため、久我理事長より平成 30 年度秋季関東学生ホッケーリーグ競技運営規定について説明があり、審議を行った。

2. 平成 30 年度競技日程案

・出口競技委員長が欠席のため、竹内学連委員長より平成 30 年度競技日程案について説明があり、審議を行った。競技役員を選出と委嘱についても報告があり、承認した。

3. インカレ（平成 30 年度男子 67 回・女子 40 回全日本学生ホッケー選手権大会実施）の準備状況の確認

・那須広報委員長が欠席のため、一川副会長より現状の広報関係の準備状況について説明があった。協賛金確保に向け活動中であるが、現時点では予算案を修正するまでには、詳細が詰まっていない旨の報告があった。その他、駒沢球技場について、「控室の割り当てをどう行うのか」「更衣室の管理は、どう行うのか」「駒沢会場の運営責任者は一橋大学となっているが、一橋大学は競技も担当しており、責任者を早急に確定しなければならない」等について協議した。駒沢会場の運営責任者は、学生で協議して決定することを確認した。

・2018 年度インカレ工程表に基づき、準備工程の進捗確認を行った。

以下、特に対応が遅れていると思われる事項を確認した。

・式典の対応：会長への式典挨拶や JHA への写真依頼を早急に対応すること。メダル、トロフィーの発注やプログラムは B インカレ、秋リーグ戦対応が終わり次第取り掛かること。開会、閉会式の流れや競技の日程表を検討した上で、次回までに案を提出すること。

・競技役員の手配は最終 2 つに絞らなければならない、久米川のホテルともう一つの候

補はコストと相談しながら決めること。特に宿舎、弁当手配全体について、立教大学男子が行うことになっているが、特に準備が遅れているのではとの指摘があった。至急、京王観光の担当の方と詰めていくよう指示があった。

- ・ 広告協賛（3万円納入）は、8月31日（金）までに関東の大学へ連絡すること。
- ・ コンプライアンスセミナーの議題は、本来であればこの時点で案があって然るべき。コンプライアンス担当の矢作学連副委員長が欠席しており、案を早急に作成するよう指示があった。
- ・ 参加申込は9/12を期限としており、早急に学連委員長より各地区の理事長あてに案内を展開するよう指示があった（今年から、ハーフ→クウォーター、ベンチ入りできる人数を12人→22人などの変更点を反映させる）。
- ・ その他、寺本副会長より、インカレ男女決勝のラジオ放送が決定した旨が伝えられた。

【報告/連絡事項】

5. 財務委員会活動報告

- ・ 祖山財務委員長より、平成30年度予算執行状況表について報告があった。

6. その他

- ・ 学生役員は合宿等の事情があると思うが、役員会への出席者が少ない。社会人は仕事の調整を行い参加しており、学生役員（含む大会会場責任者）は必ず参加するように努めてほしいとの意見があった。
- ・ 今回のインカレは、現状の学連役員の数だけでは運営ができないのは明らか。特に11/3、11/4の手伝いを行う学生を、今からどのように確保するか考えておくよう指示があった。各日50名は想定しておく必要がある。
- ・ 9/26水曜18時半より、品川区総合体育館にて、インカレ準備委員会を開催予定であり、関係する学生役員・社会人役員は出席すること。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長

一川 邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長

久我 晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長

竹内 佑太